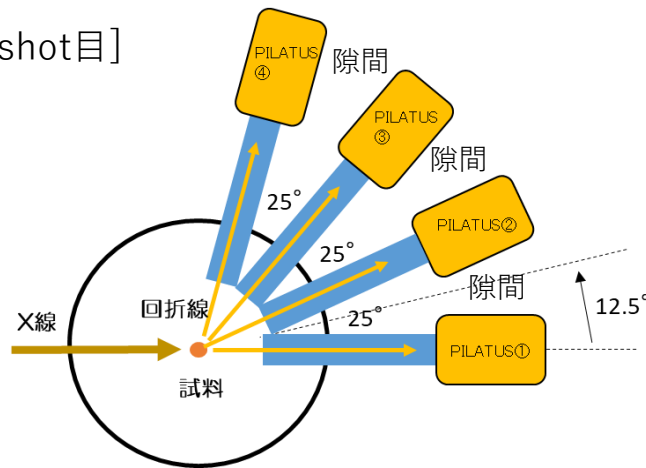


## [測定の流れ]

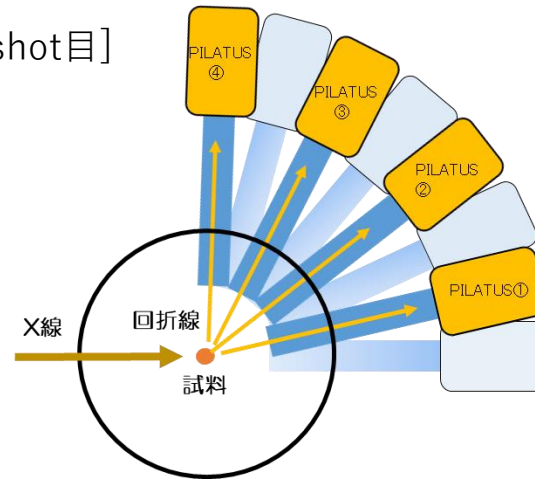
BL5S2では二次元半導体検出器、PILATUS100K(以下、PILATUS)を4台備えている。  
各PILATUSは水平0° を起点に25° 間隔の位置にある。

- 1). [1shot目] PILATUS位置：0° ,25° ,50° ,75° で測定を行う (図1)
- 2). 各PILATUS間の隙間を補うため、12.5° 回転する。
- 3). [2shot目] PILATUS位置：12.5° ,37.5° ,62.5° ,87.5° で測定を行う (図2)
- 4). それぞれの結果を足し合わせることで、2shot 2θ : ~94° の回折パターンが得られる (図3)
- 5). 必要であれば、4shotで 最大2θ : ~132° の測定が可能。

1). [1shot目]



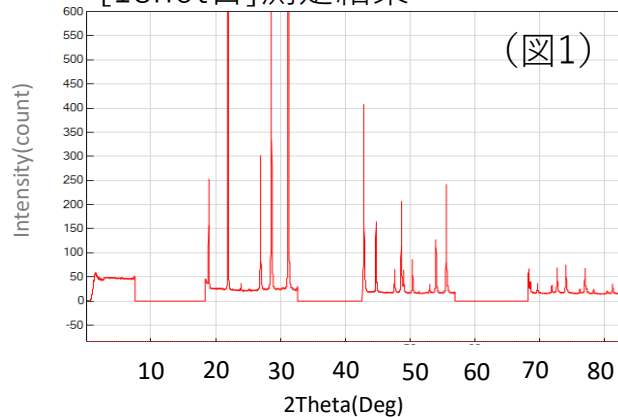
3). [2shot目]



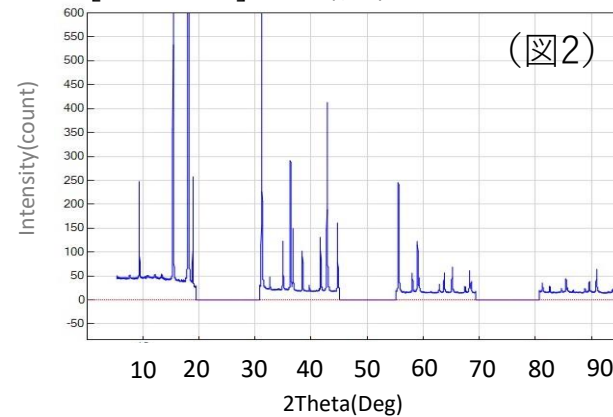
2). 回転

(例)Fe<sub>3</sub>O<sub>4</sub>粉末

[1shot目]測定結果



[2shot目]測定結果



4). [1shot目] + [2shot目]

